



# わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

北本市立南小学校

みんな なかよく みどりの学校  
かしこく 元気な 南っ子

Tel 048-591-4709

Fax 048-591-5802



## のびのび育て かしこく 元気な みなみっ子

校長 安田 一也

陽射しが、だんだんと春めいてきたように感じます。それに合わせるかのように、校庭で遊ぶ子どもたちの動きも躍動感を増してきました。早いもので、令和5年度も残すところ、ひと月となりました。

自然豊かな南小では、少しずつ春が近づいていることを校庭の木々が教えてくれています。

# 葉

そこで、樹木に関する漢字の問題です。左の字を見てください。何やらテレビ番組の難解漢字の問題のようですが、さて何と読むのでしょうか。答えは、「ひこばえ」です。樹木の切り株や伐った木の根元から生えてくる新芽、若芽のことを言います。もとは、親である樹木の子が枝で、その子から生えてくるので、「孫

(ひこ) 生え」という言葉があてられました。ひこばえは、眠っていた芽が起きだしたもので、一般に水分や養分の吸収力があり成長が速いと言われていています。ひこばえが成長し、新たな木として若返りを図ることを萌芽更新と呼び、樹木が自ら蘇ろうとする力、森が再生する生命力の象徴とされています。古来より、ブナやクヌギ、コナラなどの雑木林の管理では、薪や炭、落ち葉を得るために樹木を伐採したあとに切り株を生かした「ひこばえ」を育てる手法が採られました。種をまいたり、苗を植え付けたりするより、樹木を効率よく育成できたからです。そのため、新芽は大切に育てられてきました。

また一方で、ひこばえは、芽吹きを表すことから、春の季語とされ多くの俳句が詠まれています。芽吹きに生命力の強さを感じ、自然のもつ偉大さに触れることで、好まれていたのかも知れません。

冬の寒さにじっと耐え、待ちわびていた春の到来を喜び、のびのびと葉や茎を伸ばす様子は、全校児童429人のみなみっ子の姿に重なります。残りひと月、しっかりまとめやおさらいをし、伝統と歴史ある南小児童であることに誇りをもって、堂々と胸を張って卒業や進級をしてほしいと願っています。

結びに、この一年「子どもたちのために、学校のために」と応援や協力していただいた保護者やPTA、地域の皆様のお陰により、計画的に教育活動を推進することができました。令和5年度の締めくくりにあたり、心より感謝申し上げますとともに、今後も皆様の声に耳を傾けながら、学校運営を推進してまいります。変わらぬ、ご支援ご協力をよろしく願いいたします。(参考:しきたり.net、本日のMy俳句)